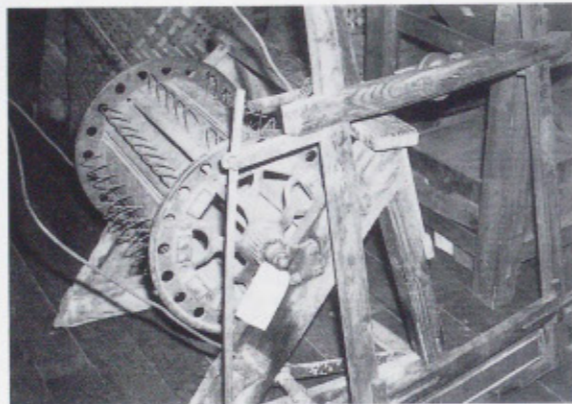


はんしょう



むかしの田畑のしごとの道具

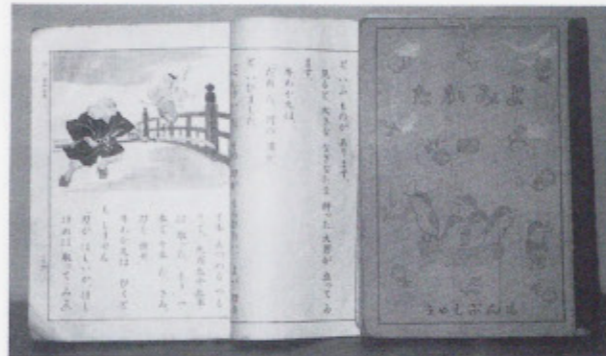
- きょう土資料しつへ行って、むかしの道具をしらべてみましょう。

※ はんしょう
チャイムのかわりにかねをならして、合図をしました。

きょう土資料しつをたずねて わたしたちは、これまで、古い道具をもちよってむかしのことをべんきょうしてきました。こんどは、学校のきょう土資料しつへ行って、むかしのことをしらべましょう。きょう土資料しつには、きるものや食きなど、生活につかったものや、田畑のしごとにつかったものなど、いろいろな古い道具がおいてあります。

ほかには、古い教科書やぎっしなど、むかしの本もならべてあります。

むかしの教科書には、「のうぎょう」「つづりかた」などもあり、今とはちがうこともべんきょうしていたことが分か



むかしの教科書



電とうカバー

ります。また、ひらがなのかわりにカタカナがつかわれたり、よこ書きは右から左へ書かれるなど、書かれかたも今とはずいぶんちがいます。

きょう土資料しつには、せんそうのコーナーもあります。

電とうカバーは、せんそうで各務原がくうしゅう空襲されていたころ、ひこうきから分からないように、電とうにかバーをかぶせ、光が外へもれないようにしたものです。

※ 空襲
せんそうで、ひこうきからばくだんをおとすこと。

- おじいさんやおばあさんに、きょう土資料しつで見た道具のつかいかたなどをきいてみましょう。



むかしの家

- むかしの家は、自分の家とどこがちがうでしょう。それは、なぜでしょう。

※ わら

小むぎのくきをつかうところが多かったが、かやをつかうところもあった。



※ なや

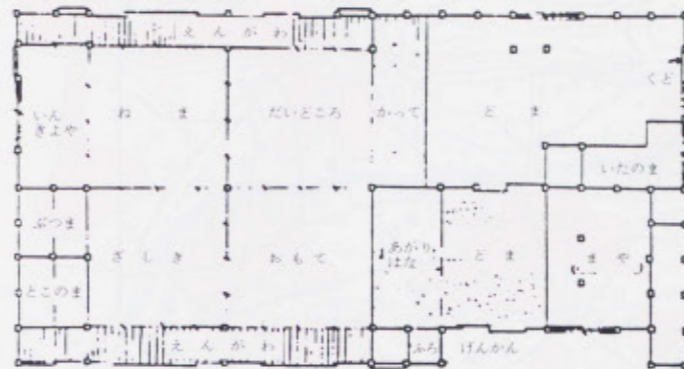
田畑のしごとの道具などを入れておくそうこ。

家からむかしをさがそう むかしの家は木や竹，土でつくられており，やねはわらでふかれています。家の前にはにわがあり，そのよこには，なや，竹おき場などもつくられていました。家の中に入ると，げんかんのすぐわきに馬をかうへやがありました。

おじいさんの話

むかしは，田畑のしごとやものはこぶしごとには，馬をつかっていました。きかいや自動車がなかったので，馬の強い力はとてもたいせつなものでした。馬も家ぞくのーいんとしてあつかわれ，人間と同じ家に

むかしの家のまどり



すんでいたのです。

土まから上に上がると，「よはち」と言って，ハじょうのへやが，ふすまをはさんで四つもあります。

おばあさんの話

むかしは，けっこん^{しき}式やそう式などで，ひとがおおぜいあつまると，ふすまをぜんぶとりはらって，ひとつの大きなへやにしました。そして，みんなでしょくじをしたり，お話をしたりしたものです。

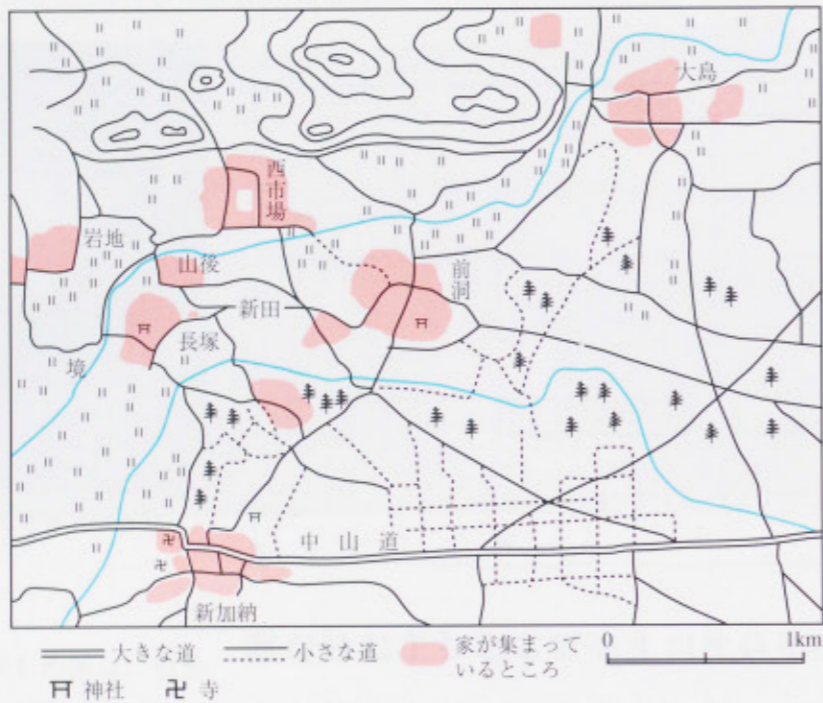
むかしは，しごとや行事を自分の家でやっていたので，家の外にも中にも広い場しょがひつようだったのです。



げんかんわきの馬や



高山本線がしかれる前の那加の町



2. 暮らしの うつりか わり

- 二まいの絵地図をくらべましょう。どんな点がちがうでしょう。

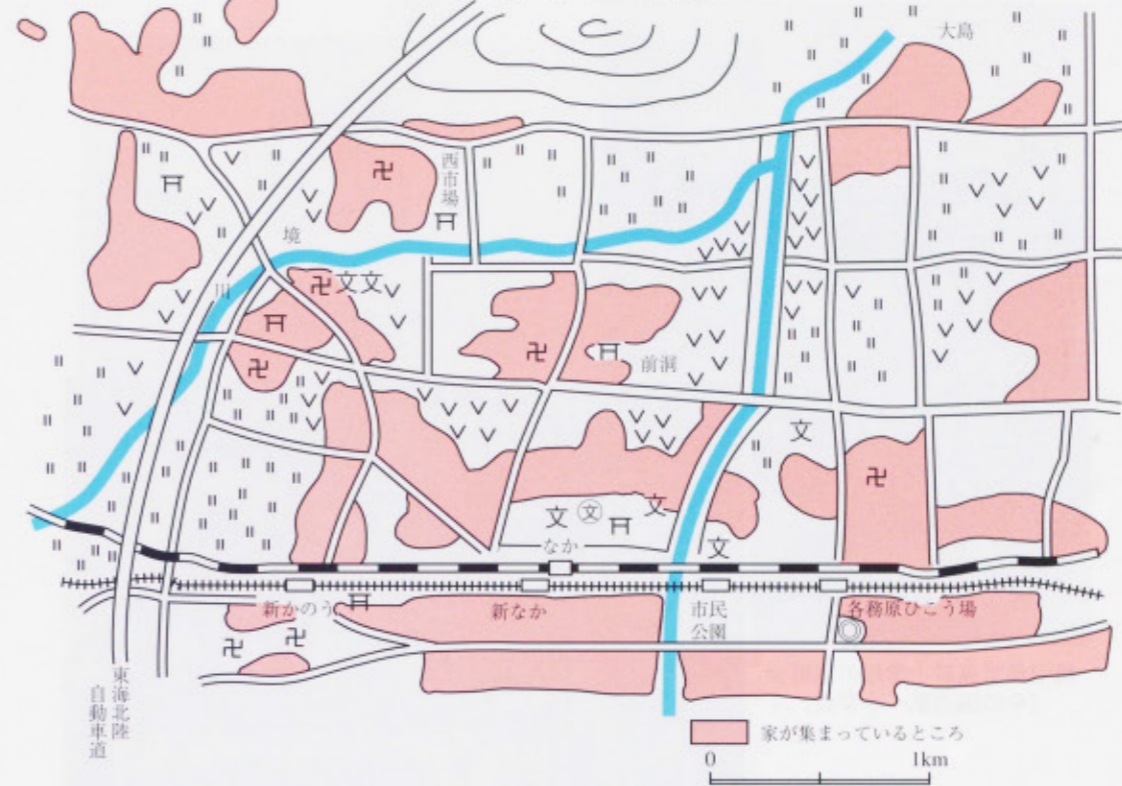
※ 1916年
大正5年

二まいの絵地図から 上の絵地図は、那加駅ができる前の那加のようすです。今の町なみのあるあたりは、ほとんどが松林や草原であり、ところどころにかいこんした畑が少しあったぐらいで、家は一けんもなかったということです。

次のページの絵地図は、上の絵地図とくらべて、どのようにかわったでしょう。

田がずいぶん多くなり、道ろがひかれ、だん地もつくられました。そして、おおぜいの人やすむようになると、学校がふやされ、市役所もたてられました。

今の那加の町



このように、那加の町全体が今のようになるまでには、いろいろなことがありました。

1916年に、ひこう場ができ、1920年には高山本線が各務原までしかれました。

1923年には、岐阜高等農林学校（今の市民公えんがあるところ）ができ、下宿屋ができるようになりました。

このほかにも、大きな工場や社たくがつくられたり、しょう店がならぶようになりました。

※ 下宿屋
学生にへやをかして、食いのせわをする。

- 人々の暮らしを大きくかえたのは、どんなできごとか考えてみましょう。



鶯沼尋常高等小学校の運動会
(今の鶯沼第一小学校)

那加尋常高等小学校の卒業生
(今の那加第一小学校)



● 鉄道がしかれるまで、
人々はどんなくらしを
していたのでしょう。

鉄道がしかれるまで

(100年前～70年前ころ)

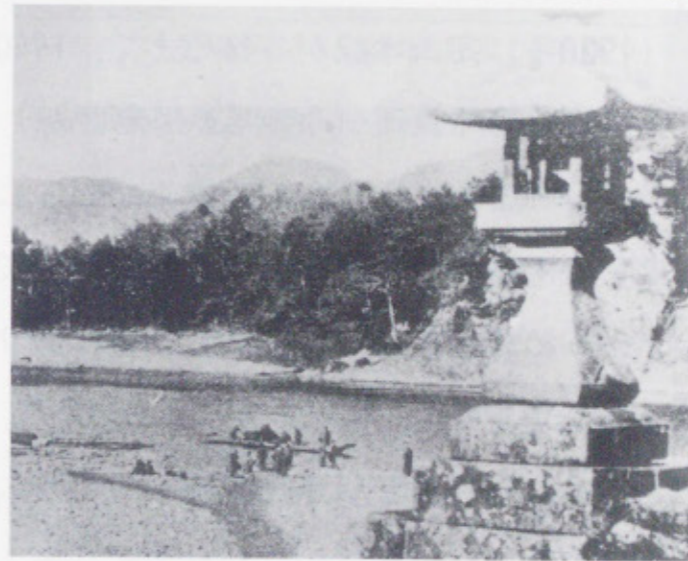
鉄道がしかれる前は、岐阜へ行くには、
わらぞうりを二、三そくもって歩いて行
きました。自動車もオートバイもないの
で、重いにもつは馬車ではこびました。

また、このころは、みそやしょうゆは
もちろん、きるものもほとんど自分の家
でつくっていました。そのため、とくべ
つな用じでもないかぎり、とおくへ出か



薪炭問屋

電気やガスのなかった
むかしは、まきやすみは
とてもたいせつなねんり
ようで、お店でかってい
ました。はいたつも、自
てん車でおこなわれてい
ました。

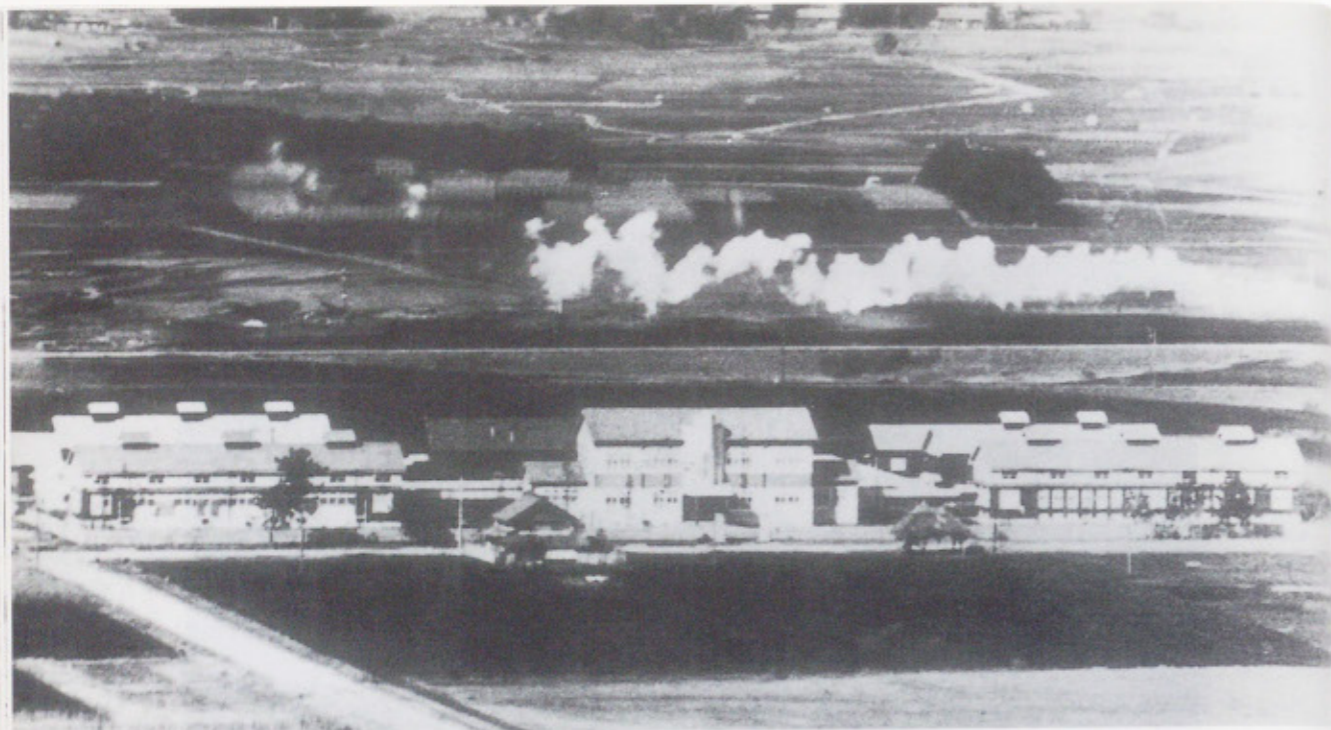


木曾川の渡船場

犬山橋ができるまで、
木曾川は、船でわたって
いました。そのため、雨
がふると川をわたること
ができませんでした。

けることは、めったにありませんでした。

鉄道がしかれてからも、ほとんどの農
家は、きかいをつかわず、人間や家ちく
の力で田畑をたがやすしごとをしていま
した。



てつ道がしかれたころの現在の市役所のちかく

※ 1920年 大正9年

1920年に高山本線が各務原まで、1940

※ 1940年 昭和15年

年には各務原鉄道（今の名鉄各務原線）

※ 電車代

おとなが一日はたらいてもらうお金と同じくらいの代金でした。

がしかれました。しかし、電車でんしゃにのるにはとても高いお金がひつようだったので、ふつうの人は、ほとんどのることはありませんでした。

おじいさんの話



鉄道がしかれて、「一・六の市」がたつようになり、いろいろなものが買えるようになりました。自てん車はじがつかわれ始めましたが、一けんの家はじに一台あるかないかというぐあい

※ 一・六の市

毎月、一と六のつく日に市がたてられ、あちこちからの買いものきゃくでにぎわいました。



農家のまゆかき

で、とてもたいせつなものでしたので、出かける時はだいたい歩いて行きました。

おばあさんの話

学校から帰ると、すぐに田畑のしごとをさせられました。家の中には、おかいこさまのへやがあって、きょうだいみんなでまゆかきをしたり、くわのはよひを用意したりしました。あそぶ時は、おとうとやいもうどの子もりをしながらあそびました。ふくはもちろん、教科書もおにいさんやおねえさんのおふるをつかっていました。



※ まゆかき
かいこがわくの中にまゆを作り、それを取り出すこと。

● おじいさんやおばあさんに、はじめて電車にのった時のことを書いてみましょう。



爆弾が落ちた瞬間 (三井東町周辺)



爆撃でこわされた川崎工場

● せんそうがあったころ、人々はどんなくらしをしていたのでしよう。

※ 1941年
昭和16年

※ 供出
のうかがつったさくもつを国へ売ること。

せんそうがあったころ (50年前ころ)

1941年ごろから、せんそうがはげしくなってきました。

各務原では、米、むぎ、さつまいもなどがよくとれましたが、自分の家で食べる分まで供出きょうしゅつさせられていました。米がなかったので、学校へのべんとうはさつまいもをもってくる子どもがほとんどでした。

食べもののほかにも、なべやかまはもちろん、お寺のかねまで、鉄はほとんど供出し、木やとうきでつくったものをつ



畑になった運動場
(今の稲羽東小学校)



じゅぎょうのようす
(今の鶴沼第一小学校)

かいました。

また、今の中学生、高校生ぐらいの男女は、ぐんじゅ工場へ行き、小学生もいもやかぼちゃづくりをしていたため、学校でのべんきょうはまんぞくにできませんでした。

1945年6月、各務原のあちこちがばくげきされ、大きなひがいをうけました。

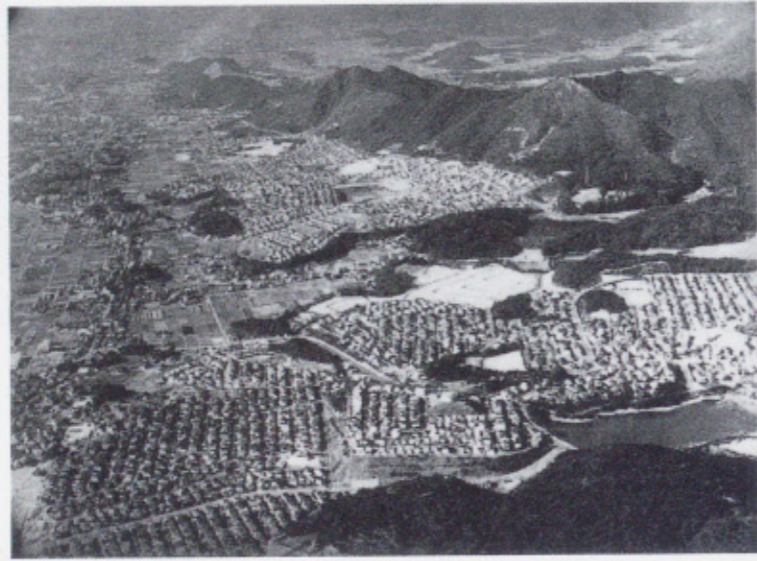
※ ぐんじゅ工場
せんそうでつかうものをつくる工場

※ 1945年
昭和20年

● せんそうのころのくらしぶりについて、きいたり、本でしらべたりしてみましよう。



空襲で家ぞくをなくしたMさんの話 空襲だということで、九時ごろ祖母、母、兄嫁、それにきんじよの人とともに、うら山へにげました。B29の子きへんたいが10分かかんかくぐらいでやってきて、9はつのばくだんをおとしました。あたしは目と耳をふさぎ、地面にふさりましたが、きかんじゅうのたまかばくだんのはへんかどちらかは分かりませんが、よこはらをかあつていったのをおぼえています。ちかくに母がいたので、心ぞうのあたりにばくだんのはへんをうけてしんでしまいました。そくでした。兄嫁は寺のかんせつを3分の2ほどえぐられ、手はぶらぶらになり、かかとの所にかんつうしていました。ばくだんのおちた所はいわ場でしたが、6じょうまぐらいで、ふかさ1~2メートルぐらいのあながあき、そばには、ばくだんのはへんがつきささった大きなまつの木がたおれていました。



鶴沼のだん地ぐん

● だん地ができたころ、人々はどんなくらしをするようになったでしょう。

だん地ができたころ (25年前ころ) 岐阜市や名古屋市に近いので、1970年ごろから、尾崎や鶴沼にじゅうたくだん地がつくられるようになりました。

このころから、家の中では、電子レンジをはじめとする電気をつかった道具がふえ、家のしごとがらくになりました。インスタント食品でりょう理がかんたんにできるようになるなど、生活がたいへんべん利になってきたのです。

また、オートバイや自家用車にのる人が多くなりました。お父さんだけでなく、お母さんもしごとに出かける家がふえて



電気せい品が使われるようになった家でのしごと

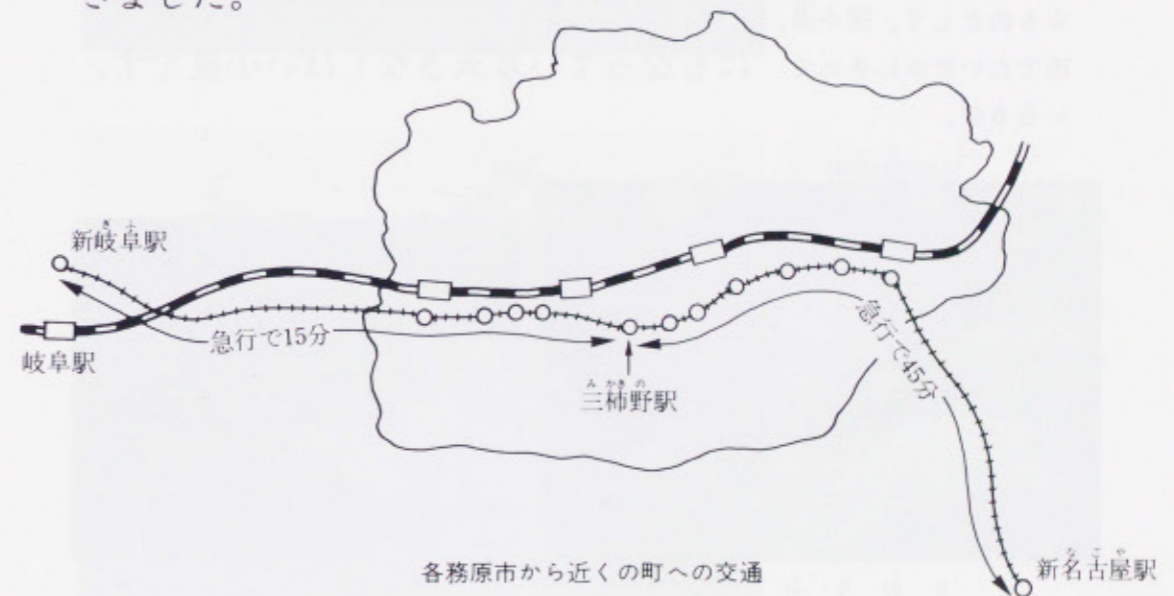


朝の通きんラッシュ (鶴沼山崎町)

きました。

子どもは、学校からかえったあとも、じゅくやスポーツクラブなどでべんきょうし、家のお手伝いをするこもへってきました。

● お父さんやお母さんが子どものころのくらしぶりとどこがちがうかくらべてみましょう。



3. 地いきの 古いものを さがそう



村 国 座

古いたてものをさがそう 各務の村国座^{むらくに ざ}

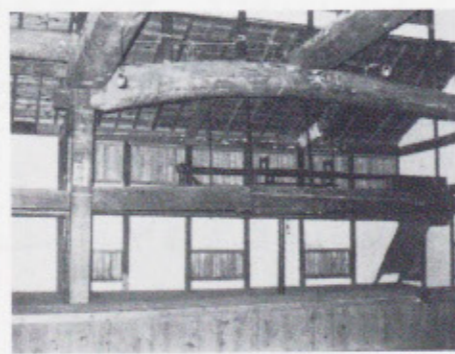
- 地いきの古いたてものには、むかしの人のどんなねがいがこめられているのでしょ。*
- ※ 指定重要有形民俗文化財

たいへんうちのあるものとして、国や県、市でたいせつにされているもの。

は村国神社のけいだい^{けいだい}にあり、今から110年ほど前につくられました。村国座は日本にある農村ぶたいのうち、むかしの形をもっともよくのこしているもののひとつであり、国の指定重要有形民俗文化財^{しやうじやうゆうけいじんぞくぶん かざい}にもなっている大きなしばい小屋です。



ま わ り ぶ た い



ま と



稲荷堂 (少林寺内)

260~270年前に建てられた禅宗のお寺の鎮守の神をまつたものです。〈市指定の重要有形文化財〉



鶴沼宿はたご (若竹屋)

昔、旅をした人たちがとまったやどで、一部たて直されている。身分の高い人がとまった本陣^{ほんじん}、脇本陣^{わきほんじん}のあとも近くに見ることができます。



手力雄神社

この神社には、神話の「天の岩戸」に出てくる手力雄命^{たぢりひこ}がまつられています。いろいろな時代のたてものや文書があり、重要文化財になっているものもあります。



常夜燈



みちしるべ

● 地いきの古いものから、むかしのようすや生活について考えましょう。

※ 鶉沼宿
むかしのたび人が、たびのどちゅうでとまったやどやさんがたくさんあるまち。

※ 1里
約4キロメートル
1丁
約109メートル
1里=36丁

むかしをつたえるもの きゅうなかせんどう 旧中山道 じょう があるいていくと、むかしをつたえるものがたくさん目につきます。右ページの古いものマップをたどりながら、いくつかを見ていきましょう。

鶉沼宿の東の入口にあたる交差点 じょう に常夜燈 やとう があります。暗くなるとこれに明かりが入れられ、道行く人の目じるしになっていました。

どうげのあたりにはおはかがあります。その左右には、「太田へ一里二十丁 ちよう、鶉沼へ十六丁」ときざまれており、むかしの人がたびをする時の道しるべになっていました。

古いものマップ



その他、各務原市には、「せいちひ 整地碑」、
「よめふり坂」など、いろいろな古いものがのこっています。



よめふり坂

自分のすんでいる所の古いものマップをつくってみましょう。

※ よめふり坂
むかし、坂上 (各務原台地の上) から木曾川をこえてよめにいく時に、家ぞくとわかれることをかなしんで、この坂をふり返りながらおりていったと言いつたえがあります。

※ かいこん 碑
あれた土地をおおせいで田んぼになおしたことをきねんしてたせきひ。



かいこん碑



村国座でおこなわれる子ども歌舞伎

- 地いきでむかしからつづいている行事をしらべましょう。

その行事にたいする人々のねがいなどをしらべてみましょう。

- ※ 各務区
各務東町、西町、おがせ町。

- ※ はな
のしぶくろなどに入れたおいわいのお金。名前が書いてある場合はその人にわたし、書いてない場合はみんなで分けます。

むかしからつづいている行事 各務の村国座で行なわれる歌舞伎しばいは、むかしからつづいている行事です。

まい年秋になると、その年のほう作をいわって、村の人たちはしごとをわすれてしばいをたのしみました。

むかしはおとなの人がえんじていたのですが、ちかごろは各務区の小学生がえんじるようになりました。

しばいの日は、村国座のきゃくせきはまんいんになります。しばいがはじまると「はな」がぶたいになげこまれるのもむかしからつづいているならわしです。



舟山祭り

おがせ池八大龍王祭のひとつ。舟にたくさんのちょうちんをかざり、左回りに池を一周します。この時に、花火もうち上げられます。



左義長

1月14日か15日に行なわれる行事で「どんどやき」とも言います。かど松、しめなわ、神社のおふだ、かきぞめなどをもやします。

那加の手力雄神社のお祭りには、けんかみこしやかけ馬があって、人々のたのしみだったのですが、ちかごろはふつうのみこしだけになりました。

そのほか、左義長やもちまきなども、むかしからつづいている行事です。

さくらまつりや歩行者天国などは、まだ10年ぐらい前からですが、今では人々がたのしみにまつ行事になりました。



歌舞伎のけいこ

- 地いきの行事をまもりつづけている人には、どんなくろうがあるのでしょうか。



- ※ やかた当番
ふえやたいこでおはやしをすること
- ※ しばい当番
歌舞伎をえんじるしごと
- ※ あんどん当番
とうろうにあかりをともしごと

地いきの行事をまもる人たち 前に学習した村国座の歌舞伎は、地いきのおおぜいの人たちによってまもられてきました。

地いきの人の話

子ども歌舞伎は、やかた当番、しばい当番、あんどん当番のしごとを三つの町でこうたいしながらうけもちます。しばい当番ややかた当番は、夜にけいこする日がつづくので、なかなかたいへんです。でも、子どもたちがじょうずにえんじ、おきゃくさんがよろこんでくださると、本当にうれしくて、それまでのくろうもふっとびます。



新しくつくり出される行事








村国真墨田神社の祭礼
7月のおまつりでは、茅のわくぐりがおこなわれます。このわをくぐるとびょう気にならないと言われており、かやでわをつくるしごとが250年前からまもられています。

みこしコンクール(蘇原)
この日のために、子ども会、自治会、会社などがたくさんのおみこしをつくり、ほこうしゃ天国になった道をねりあるきます。
蘇原中学校の2年生やみこしほぞん会のおみこしも、コンクールをもりあげてくれます。

八木山の祭り
八木山では、夏と冬に子どもからおとしよりまでみんながあつまって、えいがやおみこし、もちつきなどを楽しめます。

年表にまとめよう (教科書をさんこうにして年表にまとめよう)

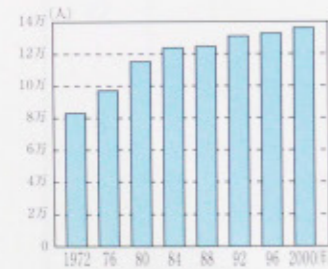
	明	治	大	正	
今から何年前	百二十年前	百十年前	百年前	九十年前	七十年前
市のできごと	はじめて小学校ができる。  古い小学校	村国座ができる。	大きな地震(濃尾震災)にあう。	鉄道 	名鉄各務原線がしかれる。 大山橋ができる。 岐阜高等農林学校ができる。 川崎重工の岐阜工場ができる 高山本線がしかれる。 飛行場ができる。
人々のくらし					

	昭	和	平成			
	六十年前	五十年前	四十年前	三十年前	二十年前	今
	川崎重工の社たくができる。 境川の放水路ができる。	せんそうでばくげきにあう。 蘇原駅ができる。	伊勢湾台風におそわれる。	四町合べいして各務原市となる。 ライン大橋ができる。	愛岐大橋ができる。 市の人口十万人をこえる。	東海北陸自動車道ができる。 市のプール・図書館ができる。 かみかはら航空宇宙博物館ができる。
		 空襲	 だん地	 市民プール		

一 住みよいくらしをささえる



- みなさんの家から出るごみが、どのようにしまつされるか調べましょう。



各務原市の人口のうつりかわり (各務原市統計より)

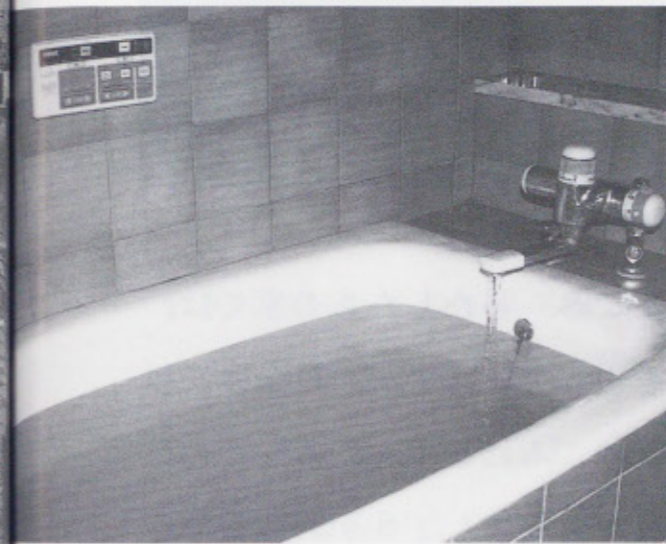
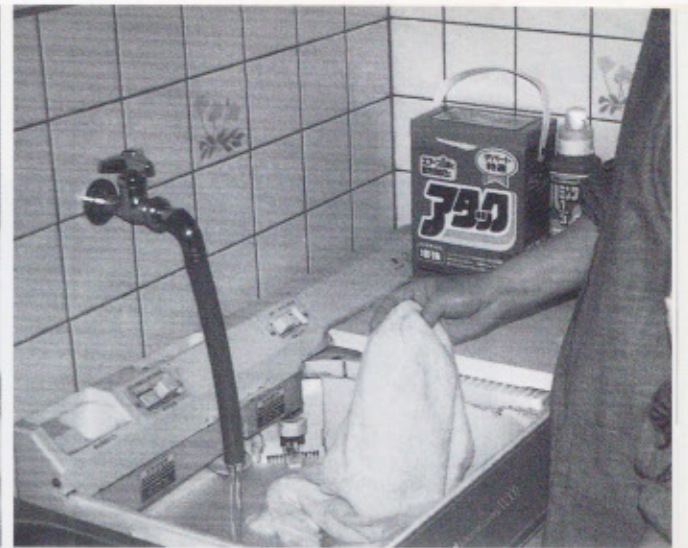
年度	人口(人)
1972年	82,908
76年	96,594
80年	114,096
84年	121,885
88年	127,652
92年	132,282
96年	134,167
2000年	135,945

ごみ収集車

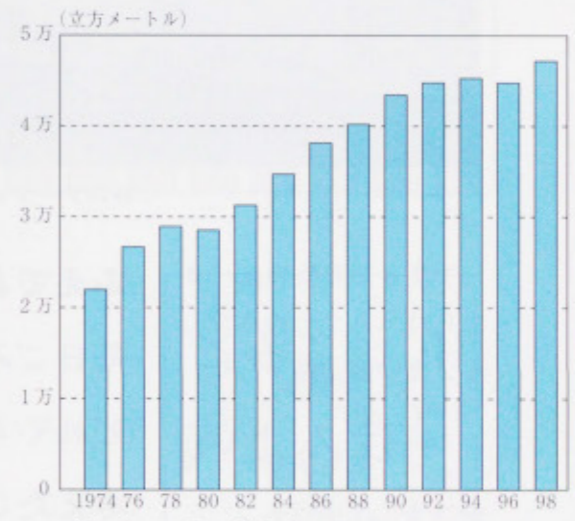
各務原市では、人々が住みよいくらしができるように、いろいろな仕事をしています。

上の写真のようすを、家の近くで見たことはありませんか。

わたしたちのくらしの中からは、たくさんのごみが出ます。年々人口がふえ、家庭から出るごみもふえつづけています。



毎日たくさん使われる水



市全体で1日に使う水の量 (水道事業年報より)

水は、すいじ・せんたく・トイレなど、くらしの中でたくさん使われ、なくてはならないものです。

市の人口がふえ、くらしがゆたかになるとともに、わたしたちは、毎日たくさん水をを使うようになりました。

市では、ごみのしまつや水道の仕事をどのように進めているのか調べましょう。

- わたしたちが使う水は、どこから、どのようにして送られてくるのでしょうか。

- 学校や家で1日に使う水の量や、使われ方を調べてみましょう。



ごみステーションに集められたごみ

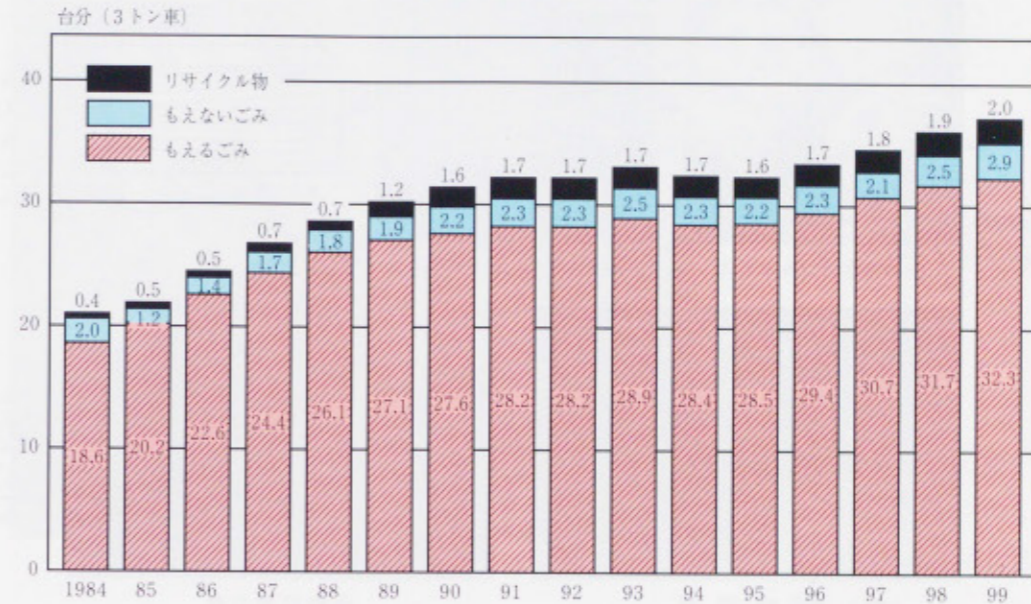
1. ごみと 住みよい 暮らし

※「125トン」
ごみ収集車でやく44
台分です。

ふえてきたごみ わたしたちの家では、毎日ごみを出していますが、市全体ではどれくらいのごみになるか、みなさんは考えたことがあるでしょうか。各務原市では、市全体で1日に125トンほどのごみが出ます。そのごみが、町のあちらこちらにすてられていたらどうなるでしょう。町がとてもよごれてしまいます。いやなおいもするでしょう。そこには、はえがわき、悪い病気が発生したりします。

各務原市では、そのようなことのないように、みなさんの家から出されたごみ

ごみ収集量のうつつりかわり（一日あたり）〈ごみ対策課調べ〉



をきれいにしまつできるよう、いろいろなくふうをしています。

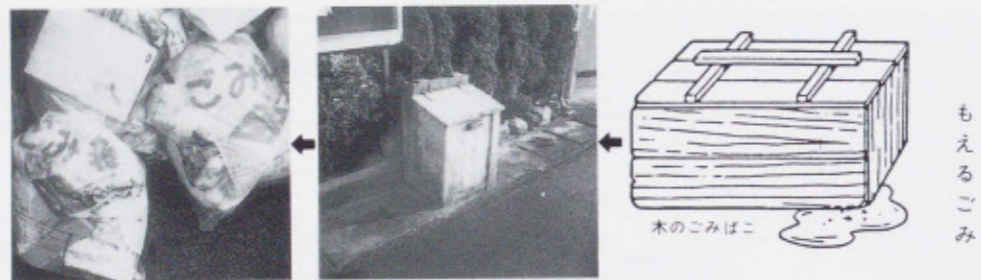
わたしたちの家からは、毎日いろいろな種類のごみがたくさん出ます。ごみには、野菜や紙のようなもえるごみと、ガラスやかんのようないもえないごみがあります。そのほかにも、プラスチックやビニールのように、もやすと体に害のあるけむりを出すごみや、こわれた家具や電気器具のような大きなごみ（粗大ごみ）もあります。市が、ごみのしまつにかけるとは、1998年度にはやく12おく円にもなりました。

● 上のグラフを見て、ごみのうつつりかわりについて話し合みましょう。

※「リサイクル」
ごみの中で、まだ使いみちのあるものを、再生業者にうり、もう一度利用することです。

● わたしたちの家では、どんなごみがどのくらい出ているのか調べてみましょう。

● 家で1週間にだるごみを、教科書のように調べて話し合みましょう。



市の指定のごみぶくろ

ポリバケツ、コンクリート

木の箱



分別収集



分別収集の前

もえるごみ

もえないごみ

かわってきたごみのしまつ 市がごみ収集を始める前は、ごみを、それぞれの家でやいたりうめたりしてしまつしていました。しかし、家がたてこんでくると、自分の家でしまつすることがむずかしくなってきました。そこで、市がごみを集めることにしました。

- ごみのしまつのしかたはどのようにかわってきたのでしょうか。
- むかしのようすを、家の人から聞いて、まとめてみましょう。

ごみのしまつのうつりかわり

むかし	1958年	1970年	1973年	1975年	1978年	1984年	1990年	1992年	1997年
・あなにうめる。家の庭でもやす。空地のごみ捨て場にする。	・那加・蘇原にしようきやく場があった。 ・那加町の一部でゴミ収集を始める。だんだん都全体に広がる。	・稲羽・大佐野町に衛生センターができる。(一日に四十トンのゴミをもやせる。)	・ごみステーションで集めるようになる。	・市でゴミぶくろを決める。	・もえないゴミは大伊木にうめたてる。 ・須衛に北清掃センターができる。(一日に百八十トンもやせる。)	・かん・びんの分別収集を始める。	・市が資源回収に一キロあたり二百円の補助金を出す。	・市が生ごみたい肥器・しようきやく器の無しようかし出しを始める。	・ペットボトル・紙パックの分別収集を始める。



むかしのごみのしまつ



30年ほど前のようす

- 左の写真や上の絵と、今のごみのしまつのしかたのちがいを話し合ひましょう。

初めのころは、ごみ収集のトラックが「けんけん」の家をまわって集めていました。そして、那加と蘇原のごみ焼却場しょうきやくじょうでもやしていました。しかし、家がふえ、ごみもふえてきたため、大佐野に衛生センターおおさの えいせいを作り、そこでもやすようになりました。そのころになると、市でさだめたポリぶくろにごみを入れ、ステーションに持ちより、収集車がそれを集めていくようになりました。

今では、北清掃センターでごみをもやしています。また、ごみの種類しゅるいで分けて集める分別収集ぶんべつもおこなわれています。

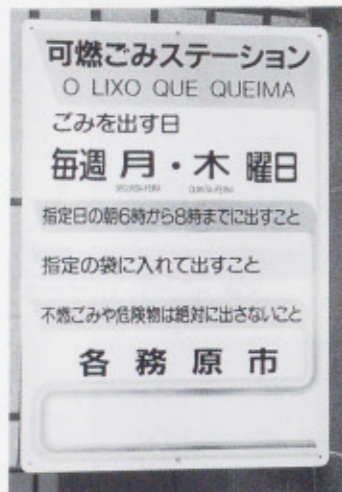


市でさだめたごみぶくろ

- 市が、とうめいのポリぶくろに決めたわけも考えてみましょう。

※「ステーション」

それぞれの家庭からごみを持ちより、集める場所。ここへ収集車が来て、持っていきます。



もえるごみのステーション

- ごみは、どのようなしくみで集められているでしょうか。
- かんさつカードを使って、家や学校の近くのステーションをかんさつしましょう。

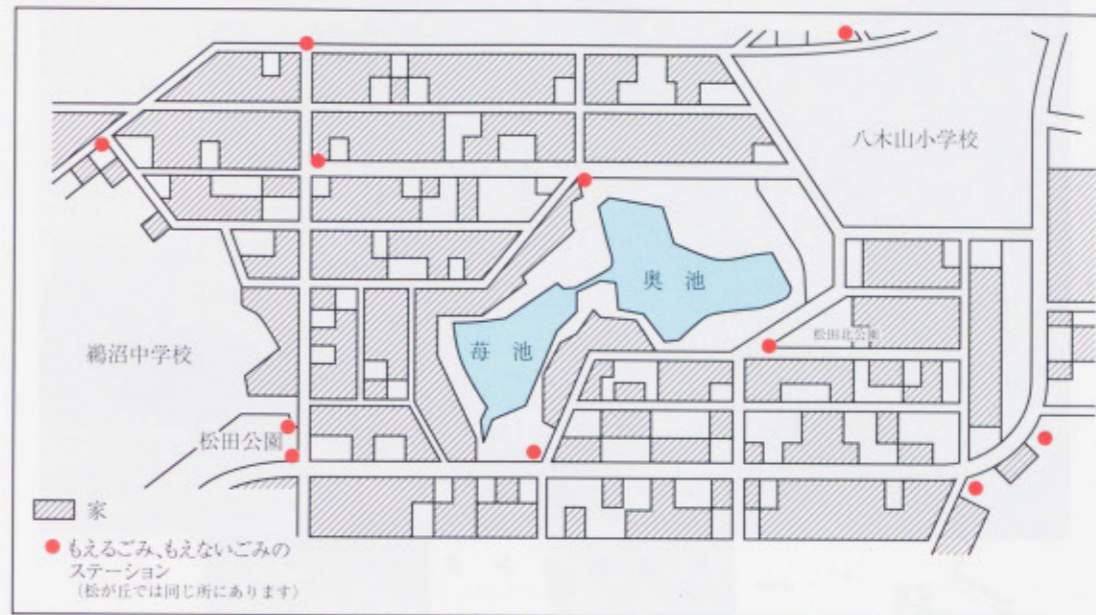
ごみを集めるくふう 鶺沼の松が丘では、もえるごみは月曜日と木曜日の週2回、もえないごみは月1回出すようになっています。

ごみ収集の日になると、町の人たちは決められたごみぶくろにごみをつめて、家の近くにあるステーションに、決められた時間までにごみを出します。

ステーションの場所は、住んでいる人たちが話し合っ決めて決まりました。

ステーションは、20けんから50けんに1か所決めることになっています。そして、収集車が集めやすいように、広い道路にそったまちかどに作られています。

松が丘のごみステーション



このようにして、市内では、1999年、もえるごみのステーションが1,487か所、もえないごみのステーションが583か所決められています。

また、ステーションはよごれやすいため、町内で当番を決めてそうじをしている所もあります。

ステーションに出されたごみは、決められた時こくになると収集車が来て、集めていきます。

ごみの集め方を見学したり、働く人(はたら)に話を聞いたりして、ごみ収集のし方やくふうを調べてみましょう。



ステーションの
そうじをする人

- 自分たちの住んでいる町では、どこにステーションがあるか調べ、ごみ収集の見学に行きましょう。



北清掃センター

ごみが集まるせいそう工場 ごみを集めた収集車は、ごみを、須衛にある北清掃センターに運びます。市内のごみは、すべてここに集められます。

※「北清掃センター」
24時間休みなくもやしつづける炉は、月に一回ほど、てんけんのために休めます。

センターに集まったごみは、大きな2つの炉によって、月曜日から日曜日まで、夜中も休まずもやしつづけています。

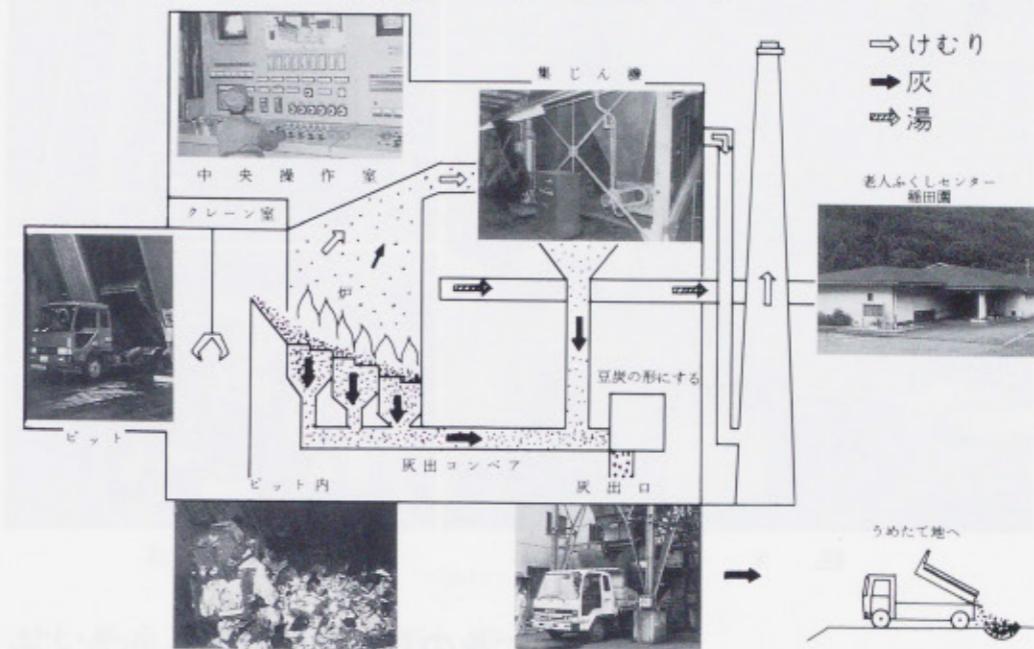
炉では、900度以上のねつでごみをもやすので、いやなにおいは出ません。こまかいほこりや灰も、集じん機でとりのぞいています。

また、もえのこった灰は、人の害にならないように、機械で5cmほどのボール



かためられた灰

北清掃センターのしくみ



の形にかためてから、大伊木のうめたて地に運び、うめています。

センター作業員の方の話 家から出るごみには生ごみが多く、やく半分が水分です。だから、もやすためにお金も時間もたくさんかかります。

また、スプレーのかんがごみにまじっていると、機械の中でばく発して、とてもあぶないです。

※「稲田園」
老人ふくしセンター。ごみをもやした時に出る熱で湯をわかし、お風呂に使っています。

● 清掃センターの作業員の方の話から、ごみを出すときに気をつけることを話し合いました。



粗大ごみ

かん・びん類

- もえないごみは、どのようにしまっさされているのでしょうか。

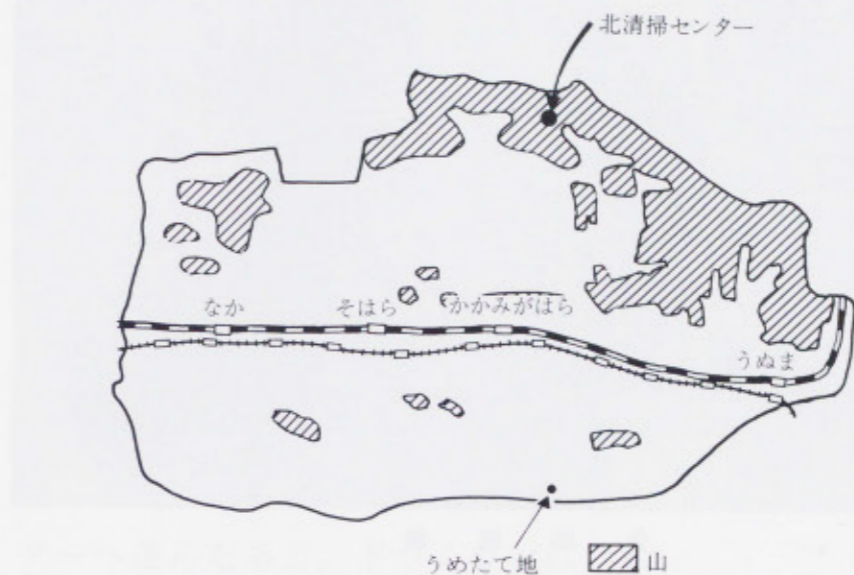
もえないごみのしまつ 家から出るごみの中には、もえないごみがあります。

もえないごみは、北清掃センターの粗大ごみ^{はき}破碎そうちにかかけられます。その中では、いきおいよく回転するハンマーが、10cmほどの大きさにくだいていきます。そして、まだもやすことのできるごみ、鉄、ガラスなどに分けています。

鉄は集められ、鉄くずとしてうります。

ガラスやせとものなどの、もやすことのできないごみは、大伊木のうめたて地に運ばれ、北清掃センターから出た灰といっしょにうめたてられています。

北清掃センターとうめたて地のあるところ



せいそう工場のある場所 市の北東部で関市に近い山の中に、背の高いえんとつが見えてきます。これが北清掃センターです。センターに着いても、ごみをもやすけむりやにはありません。北清掃センターには、新しい機械が取り付けられているためです。

ごみをしよりするには、一か所に集めなければならないので、市の中心にあるととても便利^{べんり}です。しかし、市の中心は住たくや商店がたちならび、大きな工場をつくる土地がありません。市では長い時間をかけ、計画をたててきました。

- 北清掃センターが、このような場所にあるのはなぜでしょう。

- 北清掃センターがつくられるまでに、市の係の人たちは、どのような話し合いをしてきたか考えてみましょう。

土地の広さ
 予算(つくるための
 お金)
 交通(道ろの広さや
 車の通る量)
 住民のねがい



分別収集

- ふえつづけるごみをへらすために、どのようになくふうをしているのでしょうか。

※「分別収集」

ガラス・金ぞく・きけん物などに分けて集めることです。



分別収集のたてふだ

ごみをみなおす ごみはどんどんふえつづけて、もえないごみや灰のしまつにこまっています。

そこで、今までごみとしてすてられていた空かんや空びんなど、もう一度利用できる物を集める分別収集が、1984年8月から始められました。分別された空かんや空びんなどは、リサイクルできるように加工され、わたしたちの生活に役立っています。

また、かん電池やけい光灯・鏡などのように、人の体に害のあるごみ（有害ごみ）は、分別収集で分けられ、清掃セン



家庭用電気式生ごみ処理器

校区資源回収

児童会がすすめる
アルミかん回収活動

ターへ運んだあと、ドラムカンにつめ、遠く北海道まで運んで、水銀をとりのぞいています。

市では、このほかに、家庭から出る生ごみをへらすために、ほ助金を出して、「家庭用電気式生ごみ処理器」を各家庭で利用することをすすめています。これによって生ごみが肥料にかわります。

また、各校区の資源回収では、古新聞やざっしのほかに、近ごろでは、アルミかんや牛乳パックなども多く集められるようになってきました。

市の係の人の話

今、ごみをすてるときに、一番してほしいことは、もえるごみの中の紙くずを分けることです。紙は、分けるととても大切な資源に生まれかわります。

- みなさんの家では、ごみをへらすためにどのようになくふうをしていますか。調べてまとめてみましょう。

不法投棄者の通報を！

この付近で、ゴミを捨てる悪質者を
目撃した方は、車両ナンバー等の通報
に、ご協力をお願いします。
ゴミを捨てた者は、法律により厳重
に処罰されます。

〔連絡先〕各務原警察署 TEL 83-0110
各務原市役所 TEL 83-1111



投げすて防止を
よびかけるかんばん

山のふもとにすてられているごみ

- みなさんの身の回り
では、どのような活動
がおこなわれているか
調べてみましょう。

かんきょうを守る ごみステーションや
せいそう工場がととのってきて、町はず
い分きれいに住みやすくなりました。

しかし、まだ道路や公園・空地などに
投げすてられたごみを見かけることがあ
ります。

各務原市では、年に2回市民清掃の日
がもうけられています。そのほかにも、
町の人が話し合い、町内で清掃活動をお
こなっているところもあります。

また、学校の^{ほうし}奉仕活動や子ども会でも、
地いきの公園や通学路のそうじなどがお
こなわれています。



アルミかん収集



清掃奉仕活動



市民清掃

みなさんの住んでいる地いきや学校・
子ども会では、住みよい各務原市にする
ために、どのような取り組みがされてい
るでしょうか。

- 住みよい町を守るた
めに、みなさんはどん
なことができるか話し
合いましょう。

市の水を送るしくみ (水道事業年報より)



2. 暮らしをささえる水

- わたしたちが使っている水は、どこから、どのようにして送られてくるのでしょうか。

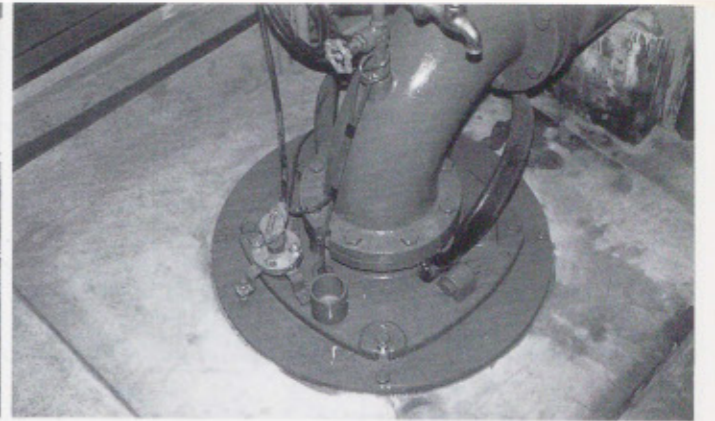
水はどこから わたしたちは、毎日たくさんの水を使っていますが、この水はどこから来るのでしょうか。

ほかの市では、川や湖の水をきれいにして使っている所もありますが、地下水にめぐまれている各務原市では、井戸から水をくみ上げて使っています。地下水は、おもに雨水が地面にしみこんだものが地下にたまったものです。

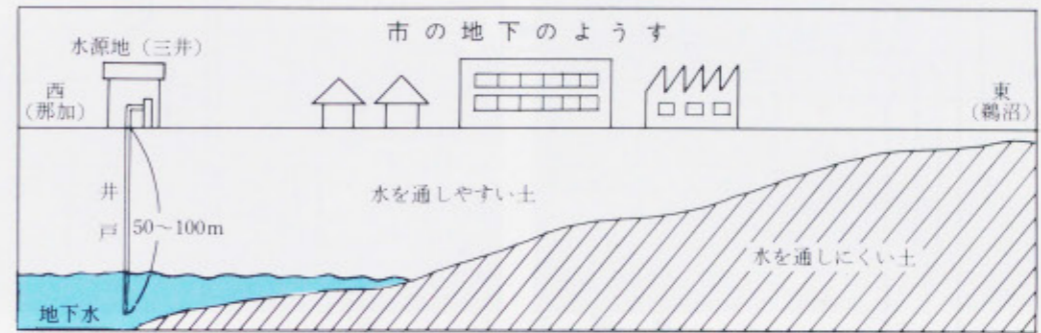
各務原市の地下のようすは、右上の図のようになっています。地下水の集まりやすい、市の西部に井戸がほられ、水がくみ上げられています。



水源地のしせつ (三井)



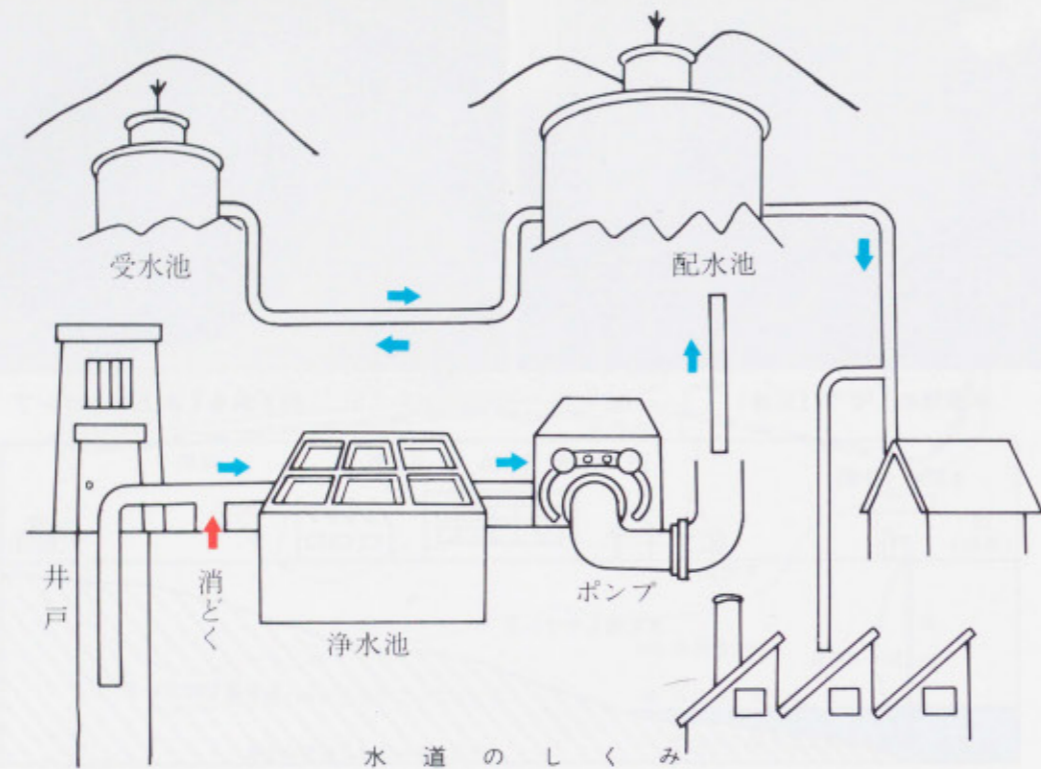
地下水をくみ上げるポンプ



井戸がある所は、三井と西市場の二か所の水源地です。井戸の数は、三井水源地には13本、西市場水源地には9本で、合わせて22本あります。

三井水源地でくみ上げられた水は、遠く鶴沼地区まで送られ、広いはんに使われています。

井戸の深さは、50mから100mもあり、たいへん深いところからきれいな水をくみ上げています。そのため、川や湖などの水にくらべて、よごれをとりのぞくためのしくみは、かんたんなものです。



● 水源地でくみ上げられた水は、どのようにしてわたしたちの家に送られるのでしょうか。

水を送るしくみ 井戸からくみ上げられた水は、消どく（殺きん）をして、浄水池に送られます。浄水池では、目に見えない小さなゴミを取りのぞきます。

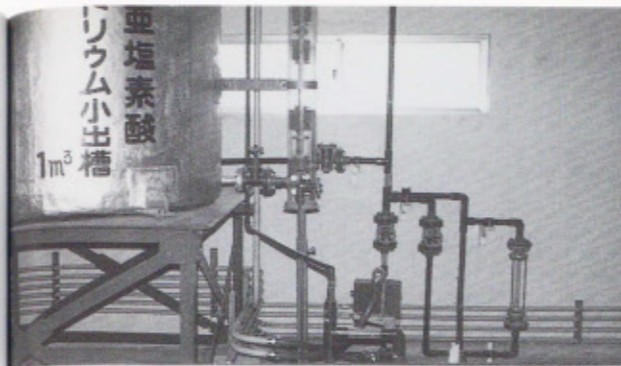
きれいになった水は、大きなポンプで山の上にある配水池にくみ上げます。

水を配水池にくみ上げるのは、高い所から低い所へ落ちる水のいきおいを利用して、わたしたちの家一けん一けんの水を送るためです。みなさんも、山の上の大きなタンクを見たことがありますね。

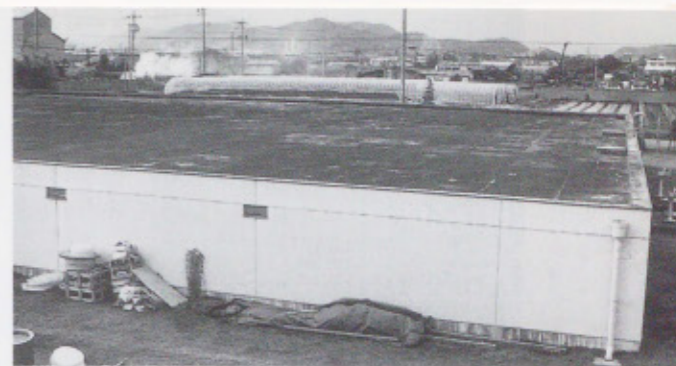
配水池は、市内に11か所ありますが、近くのものどうしはつながっています。

※ 配水池
各家庭に送る水をためておくタンク。
(市内に11個)

※ 受水池
配水池に水を送るために、水をためておくタンク。
(市内に6個)



消どくをするしせつ



浄水池



配水池

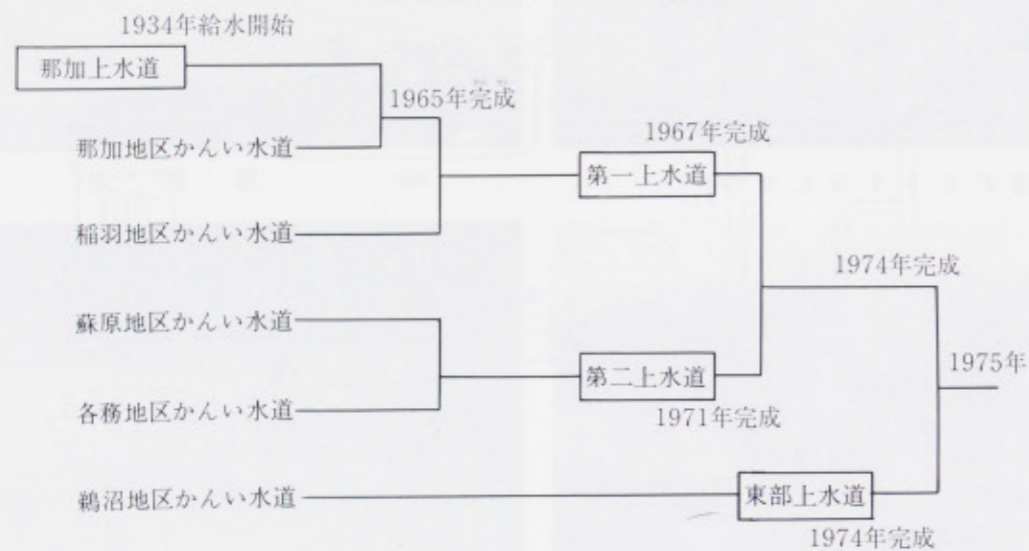


コントロール室のコンピューター

これは、もし、どこかの水が足りなくなってしまうときに、ほかの配水池から水を送るようにするためです。

水道部のおじさんの話 市内の水道のしせつはすべて無人化されており、機械がきちんと動いているかどうか水道部のコントロール室のコンピューターでわかります。わたしたちはみなさんがいつでも水を使えるように、休みの日や夜中も交たいて、コンピューターのみはりをしています。

上水道のうつりかわり



- 水道は、どのような歩みをたどってきたのでしょうか。

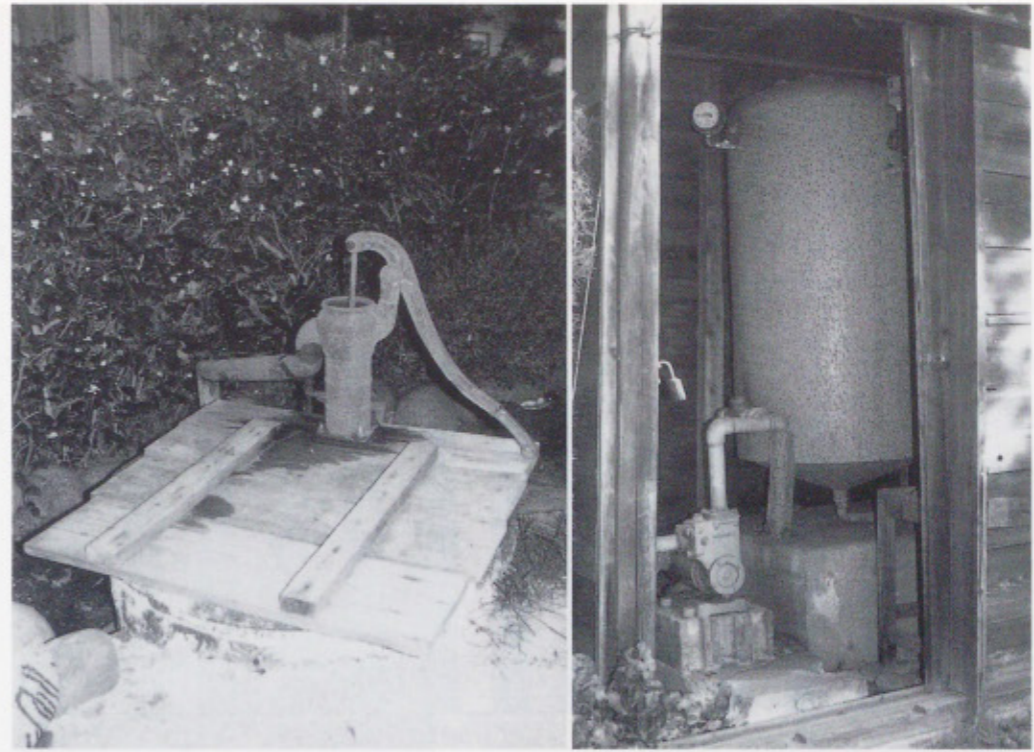
水道のはじまり むかしは、どの地いきでも、川の水や、山から流れてくる水を使ったり、自分の家に井戸をほって、水をくみ上げたりしていました。

1940年ごろから、市内の5つの地区では、「かんい水道」といって、地区ごとに井戸をほり、ポンプで水をくみ上げ、タンクにためて配水する、小さなくみの水道を使うようになりました。

1944 になると、那加駅前地区で、「那加上水道」がつけられました。これが今のような市の水道のはじまりです。

しかし、他の地区では、まだ「かんい

※ 「かんい水道」とは、人口が、101人以上・5000人以下の地いきに水を送る水道のしくみです。



井戸水をくみ上げるポンプ

かんい水道

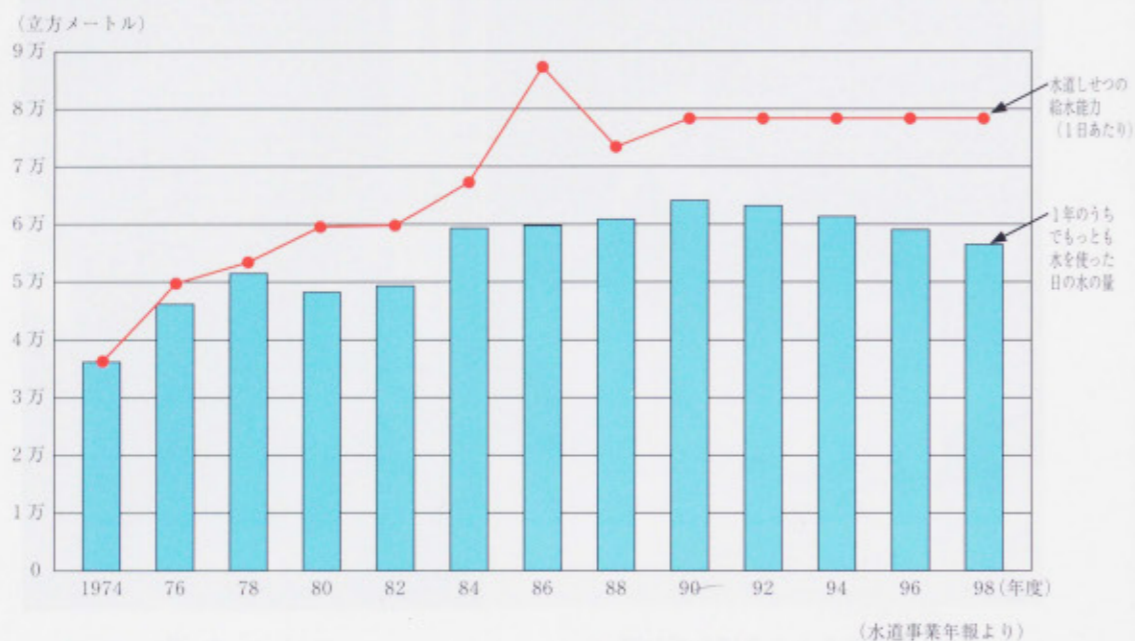
水道」が使われており、安心して使える水や量が十分ではありませんでした。雨のふらない日が長く続くと、水が足りなくなったり、にごったりしてこまることがありました。また、火事があった時、消火するのにも不安がありました。

そこで、市では、1961年から、それぞれの地区にあったかんい水道をまとめて、十分に水を送ることができるように順じゆんに工事を行っていきました。

こうして、1975年には、各務原市全体で、今のような上水道を使うことができるようになったのです。

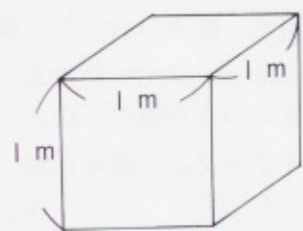
- 自分の家では、今のような水道ができる前は、どのようにしてきたのか調べてみましょう。
家ぞくや近所のお年よりに聞いてみましょう。

1日のうち、もっとも水を多く使った日の水の量と給水能力



- いつも安心して水が使えるようにするために、人々はどのような力をしているのでしょうか。

※ 1立方メートル (1 m³) 1,000 ℓ



水とわたしたちの暮らし 市では人口がふえるのに合わせて、水道のしせつをふやすど力をつづけてきました。

何年も先までの人口と、市全体で使う1日あたりの水の量を予想して、工事を進めてきたのです。

各務原市に住むわたしたちが、水の心配をしないで、いつも水のある暮らしができるのはそのためなのです。

水道かんから水がもれないように、新しいかんに取りかえる工事に、市では力を入れています。

しかし、今、わたしたちがゆたかに使



水道しせつの工事

水道しせつの工事計画(平成8年度現在)

- ・古くなってきた水道管を取りかえる。
- ・ポンプを新しいものに取りかえる。
- ・水道管や水道しせつを、地しんに対して強いものにしていく。
- ・地しんなどの時にも、断水(水が出なくなる)の地域が少なくなるように、新しく配水池をつくる。

うことができる水の量にはかぎりがあります。日本の地いきによっては、夏になると水が不足するために、十分に使えない所もあるのです。

水道部のおじさんの話 各務原市では、人口がふえるのに合わせて、新しい井戸をほったり、水道かんをふやしたりしてきました。しかし、いくら水道のしせつをふやしても、くみ上げる地下水の量にはかぎりがあるので、大切に使ってほしいのです。

- かぎりある水を大切に使うために、どうすればいいのか話し合ってみましょう。

二 安全なくらしを守る



- みちかにあった交通事故について、発表してみましょう。

このあいだ、わたしの家の近くで交通事故がありました。

おじいさんが自転車に乗っていてせまい道からとび出し、自動車にはねられたというのです。さいわいスピードを出していなかったので軽いけがだけですんだそうです。

おそろしい交通事故は、なぜ起きるのでしょうか。



消火活動をする消防しょの人たち

遠くでサイレンの音がします。火事のように。まもなく消防自動車^{しゅうぼう}がサイレンをならして走って行きました。

消防しょは、火事にそなえて「火の用心」のよびかけや消火くんれんをしています。

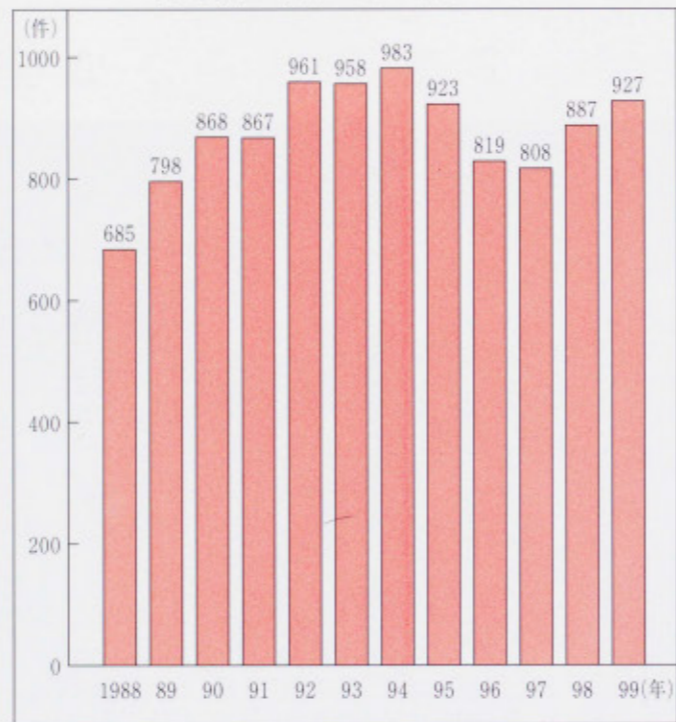
交通の安全や火事をふせぐ仕事をしている人たちの活動のようすやしせつをくわしく調べましょう。

交通事故で死ぼうした人・けがをした人の数
(各務原市)

(年)	死ぼうした人	けがをした人
1988	9	871
1989	14	1069
1990	17	1126
1991	15	1144
1992	15	1243
1993	17	1242
1994	16	1291
1995	14	1230
1996	11	1088
1997	10	1047
1998	18	1162
1999	9人	1265人

〔平成12年度 各務原の安全〕
(各務原警察署)

交通事故の件数の変化 (各務原市)



〔平成12年度各務原の安全〕(各務原警察署)

1. 交通事故からくらしを守る

- 自分たちの住んでいる地いきの交通事故のけん数を調べてみましょう。

おそろしい交通事故 各務原市の交通事故のようすについて調べてみました。

交通事故は、広い道があり、人がたくさん住んでいる鶉沼地区にたくさん起きています。大きな事故は、午後4時から午後8時にかけての時間にたくさん起きています。

事故でなくなる人は、おとしよりの方がおおくなっています。

交通事故にあった子の話

交通事故にあった子の話

夏休みの午後のことです。友だちと広場でおにごっこをして遊んでいました。おにごっこにもあきて、野球をすることになりました。

ぼくは、グローブを持ってきていなかったのに、家へ取りに帰ることになりました。いそいでかけ出しました。

ゆうぎ君の家の前の道を横ぎろうと道にとび出した時に「キーン」というものすごい音がしました。ぼくは、車にぶつかってたおれでしまいました。運転をしていた人が心配そうにかけよってきました。近所の人も家から出てきました。救急車のせられて病院に行きました。右足の骨を折れ、まっ葉ぶえを使うことになりました。夏休み中、すきな野球もできなくなりました。

小学生の交通事故は、自転車の正しい乗り方をしないために起きることが多いのです。1年のうちでは、7月、8月の夏休みに多く、その次に新学期が始まる4月に多く起きています。

毎年たくさん起きている交通事故から人々のくらしを守るため、どのような人々がはたらき、道路には安全のためにどのようなしせつがあるか、調べてみましょう。

地くべつ交通事故の件数 (1999年)

地く	事故の件数	死ぼうした人
鶉沼	425	8
那加	200	0
蘇原	191	0
稲羽	111	1
合計	927件	9人

〔各務原警察署の事故分析より〕